

「もっと多くの人に

この町を知ってもらいたい」



ふじた ひろき
藤田 博基 隊員

Profile

年齢：46 歳
出身：香川県三豊市
趣味：登山、キャンプなど、
アウトドア全般、陶芸
イギリスに美術留学後、都内で
自営業（広告業・カフェ・スポー
ツジム経営など）を経験
長年の夢だった就農と空き家活
用のため、利根町に移住
現在、宅建と建築を勉強中

「利根町の地域おこし協力隊に応募
したきっかけを教えてください」

以前は、都内で自営業をしていました。大学時代にイギリスに留学し、美術やデザインを勉強した経験から、主にインバウンド広告や、海外でのイベント企画や制作を行っていました。また、海外から著名人を招聘して、日本の魅力を発信してもらう取り組み（FAMトリップ）なども多く手がけました。

カフェやスポーツジム、エステサロンも経営していましたが、コロナ禍でインバウンドが停止し、メインの広告業の仕事が減ってしまった時に、地方への移住を本気で考えるようになりました。

もともと「いつか地方に移り住んで農業をやってみたい」という気持ちがありましたが、「年を取ってから移住して一から農業をやるだろうか？」と考えた時、「やるなら今だ」と思ったんです。

そして、移住先を探しているときに、たまたま知った利根町を訪れて、一面に広がる田園風景に感動し、「ここかな」と、直感的に移住を決めました。

その後、町で空き家対策の地域おこし協力隊を募集していることを知り、自らの移住や就農の体験で得る知識や人との繋がりが、今度は誰かの手助けになるのかも知れないと思って応募しました。

「空き家を改修して
移住者のための施設を作りたい」



あんど うき
安藤 佑樹 隊員

Profile

年齢：36 歳
出身：茨城県神栖市
趣味：ゴルフ、ガジェット集め
IT から建築・不動産業を経験
数々の資格を所有
空き家再生診断士／空き家コン
サルタント／第二種電気工事士
／危険物取扱者／防火管理者／
IT パスポート
IT から電気工事まで、何でも
おまかせください！

「利根町に移住する前は」で何を
していましたか？

大学で情報デザインを学び、卒業後は都内のIT系の会社に就職して都庁のネットワーク運用管理や、電力会社のシステム管理などをしていました。

その後、神奈川県の実業会社に転職して、建築工事の現場作業からマンシオン管理まで幅広く経験し、電気工事士や危険物取扱者など、いろいろな資格を取得しました。

この時の経験が自分の一番の強みだと思っていて、今の活動にも活かしています。



1. チェンソーで木の伐採もお任せください！

(チェンソー安全講習受講済)

2. 空き家の電気工事をする安藤隊員



「普段どのような活動をされていますか？」

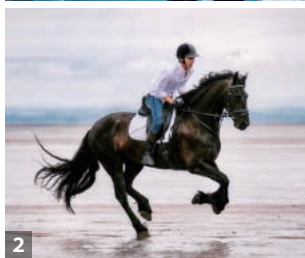
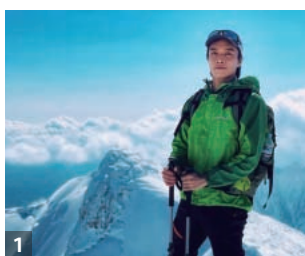
最近の活動でいうと、空き家の所有者さんへの意識調査や、空き家を売りたい・貸したいという方の相談や支援をしています。

今は文間・東文間地区に多い農地付き空き家を主に担当していて、私自身も、地元の農家さんに指導してもらいながら、米、芋、野菜や果樹など、春からの農耕の準備を本格的にスタートしました。

先日、念願だったヤギを4頭迎え入れ、ニワトリも卵から孵してヒヨコを育てています。一緒に移住した大型犬2頭も含めて賑やかに暮らしています。

「今後の目標を教えてください」

空き家バンクに登録できる物件は、比較的キレイでそのままでも住めるようなものが対象ですが、実際には、傷みや老朽化が進み始めた空き家のほうが多いです。そういう物件を売買や賃貸のステー



1. 谷川岳に登頂した際の一枚
2. 今もときどき続けている乗馬
3. DIYで空き家利活用

「利根町の地域おこし協力隊に応募
したきっかけを教えてください」

将来的には、生まれ育った茨城県で自分の経験や資格を活かせる仕事がしたいと思っていました。

そんな時、利根町が地域おこし協力隊で空き家コーディネーターを募集しているのを見つけて、この仕事なら自分の経験も活かせると思い、利根町の協力隊に応募しました。

茨城県内では、県央や県西にも、同じような空き家対策で協力隊を募集しているところもありましたが、妻が都内へ通勤していることもあり、都内へ1時間圏内という利根町の立地の良さが決め手となりました。

「空き家コーディネーターの活動内
容を教えてください」

空き家コーディネーターのミッションは、「空き家バンク制度の推進」や「空き家所有者と移住希望者のマッチング」などにより、利根町の空き家を減らすことです。

昨年7月に着任してからは、まず、空き家の所有者さんへの聞き取り調査を行いました。その時に「空き家をどうにかしたいけど、何から始めたらいいかわからない」という声が多く聞かれました。

ジに上げて、利活用に導きたいな
と思っています。

また、空き家問題の改善には、移住者の存在が不可欠ですので、町内の農地付き空き家をお借りして、移住や就農希望者向けのワークショップや勉強会などを定期的に開催していく予定です。

春には田植えや野菜の苗植え、夏は皆で竹の切り出しから行う流しソーメンやバーベキュー、ヤギたちとキャンプなどいいですね。

秋には稲刈りや芋掘り。冬は味噌造りや餅つきなど、大人も子供も楽しみながら学べる企画にしたいです。

他にも、移住希望者向けの空き家見学ツアーなども他自治体で反響が大きいと聞きますので、ぜひ利根町でも企画できればと思います。

私は、適度に田舎でのんびりした利根町での生活や、この町で出会った人たちが大好きです。

農業体験などを通じて、もっとこの町を知ってもらえたらいいなと思っています。

そういう時は、私たち空き家コーディネーターにお気軽に相談してほしいです。

例えば「空き家のゴミを処分したい」とか「家を売りたいけどどうすればいいの？」など、皆さんの悩み解決のお手伝いをさせていただきます！

「今後の目標を教えてください」

空き家問題の解決のためには、移住者や関係人口を増やすことが重要だと考えていて、人が増えれば、需要が増え、生活環境が整備される、そしてまた人が増えるといった循環を作り出したいです。

そのための第一歩として、まずは利根町を知ってもらえるような、「お試し移住」ができる施設や町民の方々の交流の場を作りたいと思い、現在、羽中地区にある空き家の改修を進めています。

実際に住んでみないとわからないことっていっぱいあると思うんです。ネットに載っている情報だけじゃなくて、利根町にはこんなに魅力的な人達がいるっていうのは、僕も実際に利根町で暮らしてみないとわからない情報でした。

だから、まずは少しでも移住に興味がある人に利根町に来てもらって、利根町の魅力に触れてもらえればと思います。